

平成24（2012）年度  
「地域公共政策士」育成のための資格教育プログラム  
に係る自己点検評価書 基礎データ（申請用）

機関名

京都府立林業大学校

プログラム名

自然を尊敬して京の森林をつくるプログラム

平成24年7月

I 教育内容・方法等

(表1-A)

1 第1種・第2種プログラムの概要

プログラム名		学習アウトカム (プログラムを通して達成される学習アウトカムを別表より選択した上で、各プログラムの目的や教育目標に照らし合わせ記述ください)		
自然を尊敬して 京の森林をつくる  プログラム		到達目標	7-0-3 「森林を取り巻く地域社会における様々な課題に対応するために必要な知識・技能・実践方法に習熟するとともに、それらが地域社会に与える影響を適切に判断することができる」	
		知識	7-1-4 「持続可能な森林づくりのできる社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成に関する理解」	
		技能	7-2-4 「森林に関して対象となる政策・事業に関する中長期的な社会意義の評価」	
		職務遂行能力	7-3-3 「課題の解決のために必要な木材等の社会的資源を必要に応じて再構成」	
			開講期間	
構成科目名	担当者名	(前期、後期、通年のいずれかを ご記入ください)	ポイント数	プログラム内における構成科目の位置づけ
育苗技術	川辺龍太郎	1 学年後期	2 ポイント	川上側の知識・技術の習得及び課題の把握
育林技術	川辺龍太郎	1 学年前期	2 ポイント	川上側の知識・技術の習得及び課題の把握
林業経営 1	井上貴文	1 学年後期	2 ポイント	川上側の知識・技術の習得及び課題の把握
森林経営計画作成 1	上萩寛	1 学年後期	2 ポイント	川上側の知識・技術の習得及び課題の把握
森林・林業政策 1	井上貴文	1 学年前期	2 ポイント	川上～川下のセクターを超えて、地域の持続可能な森林づくりに資する能力の養成、木材利用を核とした政策提案能力の養成
公共政策概論	志方隆司	1 学年前期	2 ポイント	川上～川下のセクターを超えて、地域の持続可能な森林づくりに資する能力の養成、木材利用を核とした政策提案能力の養成
京の木と文化	木村祐一	1 学年前期	2 ポイント	業界の最高の技能保有者から学ぶ心と技
モデルフォレスト論 1	志方隆司	1 学年後期	2 ポイント	川上～川下のセクターを超えて、地域の持続可能な森林づくりに資する能力の養成、木材利用を核とした政策提案能力の養成
木材コーディネート 1	山崎拓男	1 学年後期	2 ポイント	川下側の技術・知識の習得及び課題の把握、川上～川下のセクターを超えて地域の持続可能な森林づくりに資する能力の養成、木材利用を核とした政策提案能力の養成
木材コーディネート 2	山崎拓男	2 学年前期	2 ポイント	川下側の知識・技術の習得及び課題の把握、川上～川下のセクターを超えて地域の持続可能な森林づくりに資する能力の養成、木材利用を核とした政策提案能力の養成